



富士のお茶の振興と新たな特産品創出事業

戦略2 施策11

農林水産物の付加価値向上と担い手の確保・育成

背景・課題・目的

- 本市の基幹産業であるお茶は、市場価格の低迷等により、今後の事業継続が厳しい状況になっています。
- このような状況を打開するため、「富士市のお茶」のブランド価値を高めていく必要があるほか、市外及び海外へのPRを強化し販路開拓するなど競争力の強化への支援が求められています。
- お茶の生産は、近年、乗用型茶園管理機の導入が進み効率的な生産が進んでいる一方で、集約化が進んでいない茶園などは採算性が低いことから、他の畑作物に転換し、消費者の需要に応じた新たな特産品の創出支援が必要となっています。

事業内容・目標

- 茶業振興及び競争力強化
 - 富士のお茶の海外、国内販路拡大支援
 - 富士のお茶と富士のほうじ茶の認知度向上支援
 - 一般社団法人「おにぎり協会」と連携した富士のお茶のPRの強化
- 新たな農作物の栽培促進による特産品の創出
 - トウモロコシや落花生の栽培面積の拡大支援
 - 落葉果樹及び柑橘類の特産化支援



事業担当課

農政課 農業振興担当

電話 0545-55-2781